

# 愛知県リサイクル資材評価制度(あいくる)の構築及び運用

受賞機関 愛知県建設部建設総務課  
愛知県建設技術研究所

はじめに

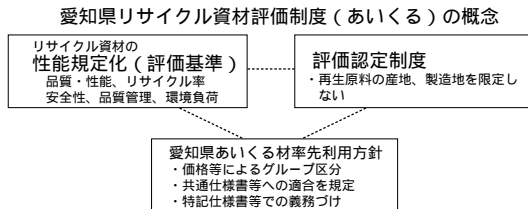
愛知県リサイクル資材評価制度(以下「あいくる」という。)は平成13年度に公共工事におけるリサイクル資材の利用促進を目的に知事の主要施策として構築され、平成14年度から運用されている。

制度の概要

公共工事では、使用実績の少ない資材は使われないうが、リサイクル資材は公共工事で使用されなければ、使用実績が作れないというジレンマがあり、結果としてリサイクル資材の使用は進まなかった。

しかし、いわゆるグリーン購入法が施行されるなど、公共工事においてもグリーン調達を拡大する努力義務が課せられるようになった。

愛知県では公共工事におけるグリーン調達を拡大する施策として、ジレンマを解消するため概念図で構成されるあいくるを制度化した。



あいくるの評価基準や「愛知県あいくるの材率先利用方針」などは、以下の2つのホームページで公開しているので参照されたい。

基準等 <http://www.pref.aichi.jp/kengiken/>

方針等 <http://www.pref.aichi.jp/kensetsu-somu/>

あいくる材の認定

平成14年4月から認定申請を年3回、建設技術研究所で受付審査を行い、最終的にリサイクル資材評価委員会の了承を得て認定した。

平成14年度の認定状況

回数	件数	資材数
第1回	42件	72資材
第2回	35件	56資材
第3回	71件	200資材
合計	148件	328資材

県工事での使用状況

平成14年9月から「愛知県あいくるの材率先利用方針」に基づくあいくるの材の率先利用を農林水産部、建設部、企業庁の全工事部局で開始した。

年度途中からであったことや、まだ資材の流通が不十分であったことなどの条件があったが下表のような利用実績となった。

主要なあいくる材の利用実績

資材名	利用量	構成比
側溝、U字溝	9,356m	24.1%
境界ブロック	3,841m	24.8%
L型擁壁	482m	29.7%
積みブロック	1,838m <sup>2</sup>	21.9%
舗装用ブロック	731m <sup>2</sup>	49.6%
セラミック管、陶管	165m	19.7%
堆肥	332t	66.5%

構成比は9月以降発注の同種使用資材での構成比



実例 総合治水対策特定河川工事一級河川青木川  
(一般廃棄物溶融スラグ含有L型擁壁)

おわりに

あいくるは、リサイクル資材を利用拡大するという目的に対して有効な制度であることが示された。

また、愛知県は、リサイクル資材の率先利用にあたって予算を増額しておらず、「リサイクル資材は高い」という固定概念をある程度うち破れたと考えている。

今後、県内の市町村ばかりでなく全国の自治体等にこの制度が広まり、基準の共有や相互認定などに発展することを期待したい。